

【労働委員会】

(1) 審議概観

第131回国会において労働委員会に付託された法律案はなかった。また、本委員会付託の請願6種類129件のうち2種類47件を採択した。

〔国政調査等〕

10月25日、浜本労働大臣から所信を聴取し、11月15日に質疑を行った。

障害者の雇用対策、高齢者の雇用促進、雇用保険制度の充実、産業構造の変化に伴う雇用対策、介護休業法制化の必要性、過労死の認定の在り方、労災病院の整備充実、失業対策事業の見直し、男女雇用機会均等法による調停制度の在り方などの問題が取り上げられた。

そのほか、前国会閉会中の8月29、30の両日に実施された委員派遣の報告が10月6日に行われた。派遣では、雇用失業情勢と雇用対策等に関する調査のため京都府及び大阪府に赴き、府庁、レディス・ハローワーク、企業、卸売市場等の視察を行っている。

(2) 委員会経過

○平成6年10月6日(木) (第1回)

理事の補欠選任を行った。

労働問題に関する調査を行うことを決定した。

派遣委員から報告を聴いた。

○平成6年10月25日(火) (第2回)

浜本労働大臣から所信を聴いた。

○平成6年11月15日(火) (第3回)

障害者の雇用対策に関する件、高齢者の雇用促進に関する件、雇用保険制度に関する件、産業構造の変化に伴う雇用対策に関する件、介護休業の法制化に関する件、過労死の認定に関する件、労災病院の整備充実に関する件、失業対策事業の見直しに関する件、男女雇用機会均等に関する件等について浜本労働大臣、政府委員、通商産業省及び厚生省当局に対し質疑を行った。

○平成6年12月8日（木）（第4回）

理事の補欠選任を行った。

請願第757号外46件は、採択すべきものにして、内閣に送付するを要するものと審査決定し、第899号外81件を審査した。

労働問題に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。

閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。